

十石山山行

雪山を楽しむ

2017年11月25日（土）～11月26日（日）

【メンバー】ふじ（L）、ヤマメ、杉浦、ハンブルクの星

2017年11月25日（土）雪

3年前の7月に登頂したことがある十石山に今回は雪山シーズンに入山した。まだ冬の走りなので例年通り、せいぜい中腹から山頂にかけて雪がある程度と思っていたが、実際には登山口から既に40～50cmほどの雪。深い所で1m以上の降雪となっており、大いに戸惑わされた。尚且つ新雪なので柔らかくてワカンを装着していてもかなり歩行しづらく、1日目は標高差850mを7時間、そのうち5時間くらいはラッセル続きだった。途中から急登も続き、きついラッセルとなった。計画していた山頂近くの十石山避難小屋まではとてもたどり着けないので15時半ごろに止む無く標高2050m地点で幕営した。



11月26日（日）晴れ後雪

2日目の天候は晴れ、山頂からの大展望を期待してテント場を6時半に出発。この日もスタート直後から実に山頂まで5時間半にわたってずっとラッセル続きとなった。登るにつれて降雪は益々深くなり、ワカンを装着していても時折股間までスッポリと埋まってしまうほどだった。パーティの4人でラッセルを次々と交替しながら登るが牛歩並みのペースとなってしまった。

2時間ほど登った地点で樹木の間から蝶ヶ岳、常念岳の冠雪の頂が見えたが、快晴だったのも束の間、この後天候は急変して強烈な風と雪に見舞われる。



森林限界を過ぎ山頂まであと 100m 地点からの急登は最後のきついラッセルになった。風雪はさらに強まる中、山頂 (2,525m) まであと標高差 50m ほどの地点まで到達したのが 12 時、下山の事を考えると時間切れでここまでとした。天候悪化によりここには数分しか滞在できなかった。というのも山頂周辺は既にホワイトアウト状態で、つい先ほど我々が登りつけたトレースすら見えないうらいで、慎重にコースを見極めながら急ぎ吹雪の中を下山した。



テント場から山頂まで登りは 5 時間半かかったが、下山は僅か 1 時間でテント場に到着。風も緩んでここからは我々が

前日につけたトレースを踏みしめて 16 時半ごろに登山口戻った。

11 月最終週でこれほどの降雪に見舞われたのは初の経験。2 日間合計で 11 時間に及ぶラッセルは堪えた。ハードだったが雪山をたっぷり楽しめた、印象深い登山だった。

「コースタイム」

11 月 24 日 (金)

21:00 浜松出発、

24:00 松本 I C から沢渡までは既に雪。

11 月 25 日 (土) 雪

1:00 沢渡到着 & 仮眠

6:00 起床

8:00 白骨温泉駐車場到着

8:20 同、出発

8:50 白骨林道から登山口に入る

9:20 十石山への分岐

15:30 テント設営場所(標高 2,050m 地点)

11 月 26 日 (日) 晴れ後雪

4:00 起床

6:30 テント場出発

12:00 山頂周辺

13:00 テント場に戻る

15:20 分岐点

15:40 登山口

16:00 白骨温泉駐車場

23:00 浜松帰着

文責：ハンブルクの星